

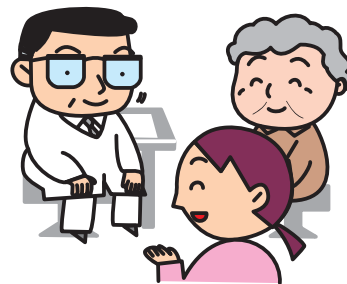


# 「認知症」にはどう対応したらよいのでしょうか

虐待を受けている高齢者の方に、認知症の症状がみられることがあります…。

認知症とは、何らかの原因によって、脳の知的機能が低下して日常生活に支障をきたす「病気」です。

「今までと様子が変わったな」ということがあったら早めに専門機関に相談するなど早めに対処しましょう。



## 認知症にみられる症状

### 主な症状…

- 新しいことが覚えられなくなる
- 物事の段取りが立てられなくなる
- 道具の使い方や着替えの仕方がわからなくなる
- よく知っている人や物の名前が出てこなくなる
- 人や物を見ても誰か、何かわからなくなる

### 人によってはこんな症状も…

- イライラして落ち着きがない
- 眠れない
- 実際にはない物が見えてしまう
- ひとりで家を出て行ってしまい、帰れなくなる



## どう対応したらよいのでしょうか？

- 勘違いや間違いを、否定したり叱ったりせず、高齢者の気持ちを尊重し、話に耳を傾けましょう。
- なじみの家族や知人、家や地域のなかは、安心して落ち着いた生活を送ることができます。
- 人と接することが少なくなると、刺激が減り、周りに対する関心も薄れて、意欲がなくなります。周囲の方の温かい心づかいが大切です。
- 高齢者の過去の体験を大切に  
認知症の方は、過去の生活体験から行動していることが多いことを理解しましょう。
- できることをしていただきますよう！  
「まだ出来る！」「役割がある！」という自信が状態安定につながります。



## 介護者や周囲の方に大切なこと

- 認知症への理解を深めましょう。「認知症」は病気の一つであり、本人のせいでも介護者のせいでもないと考えましょう。
- 介護に疲れたら、まず自分を元気にしてあげましょう。

